年　　月　　日

**大規模小売店舗**

**変更計画説明書**

大規模小売店舗の名称及び所在地

名　称　　○○○○○ショッピングセンター

所在地　　富山市新総曲輪１番７号

建物設置者

氏名又は名称　○○○○○株式会社

代表者名　　　代表取締役　　△田　□男

住所　　　　　富山市新総曲輪１番７号

連絡先　　　　○○○○○株式会社

富山市新総曲輪１番７号

担当者名　　　開発部　　○本　△子

ＴＥＬ　　　　（０７６）４４４－△△△△

ＦＡＸ　　　　（０７６）４４４－△△△×

核テナント

氏名又は名称　△△△株式会社

代表者名　　　代表取締役　　○川　×之

住所　　　　　富山市舟橋北町１の11

※　所在地が富山県内の場合は市又は郡から記載する。

※　出店計画説明書に頁を付ける。

|  |
| --- |
| **Ⅰ 変更の趣旨等計画の概要** |

１　変更計画の趣旨

※変更計画の目的、趣旨、経緯とともに出店に際しアピールしたいことや周辺生活環境への配慮事項等を簡潔に記載してください。

２　大規模小売店舗設置者の連絡先等

(1)　設置者の氏名（名称）及び住所

※法人にあっては代表者の氏名を記載してください。

(2)　担当者の連絡先及び電話番号・ＦＡＸ番号

※部局名称も記載してください。担当者が複数の場合には全て記載してください。

３　店舗施設計画の概要

(1)　建物の名称及び所在地

名　称　　○○○○○ショッピングセンター

所在地　　富山市新総曲輪１番７号

(2)　計画地の概要

①　敷地面積及び土地の所有形態

（例）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区　分 | 面　　積 | 備考（所有形態等） |
| 建物敷地 | ○，○○○㎡ | 自己所有予定（○年○月売買契約締結予定） |
| 駐車場敷地 | ○，○○○㎡ | 賃貸借契約予定（○年○月契約締結予定） |
|  |  |  |
| 合　計 | ○，○○○㎡ |  |

※敷地面積は合計面積とともに用途別に分けて記載してください。

※所有形態は自己所有及び借地の区分をしてください。

②　法令上の用途等

※都市計画制限等を記載してください。用途地域・その他地域地区（高度利用地区、防火地域、準防火地域、駐車場整備地区、風致地区等）が指定されている場合、その種類を記載してください。

※その他、建築にあたって法令上の制限等がある場合はその旨を記載してください。

注）都市計画法に基づく開発許可の必要性の有無を記載してください。

（有の場合はその手続き状況についても記載してください。）

注）店舗建設が法令上不可能な地域（例　市街化調整区域、第１種低層住居専用地域、工業専用地域等）での計画で、解除等の見通しのあるもの、又は除外規定の対象となるものである場合は、その見通し及び作業日程、法令上の根拠、関係各機関の意見等、これを証する書類の提示をしてください。

※「用途地域指定図」（都市計画総括図）を添付してください。

③　現在の利用状況

※計画地の現在の土地利用形態を記載してください。

注）農地の場合は転用の見込みを、工場等建物が現存する場合は、その所有関係（自己所有でない場合は確保の見通し）を示してください。

（例）農地→（転用見込みを記載）

工場・倉庫、等→自己所有予定（○年○月売買契約締結予定）

更地　等

(3)　計画地周辺の概要

①　立地環境

※計画地の周辺環境を具体的に記載してください。特に、既存の商業集積地への立地か、住宅地への立地かが明確にわかるように表現してください。

※上記に加え、周辺の状況がわかる写真を地図に貼付するなど、周辺状況を把握できるようにしてください。

（例）都心商業業務地区、低層住宅地区、既成市街地商業業務地区、郊外新興住宅地区、郊外新興商業地区、工場倉庫等集積地区　等

②　隣接地の用途現況

※周辺見取図（住宅地図等の写しでも可）を添付し、計画地の周囲４方向の隣地（道路を隔てた隣地も含む。）の建物用途現況を表示してください。

※上記に加え、周囲４方向の隣地がわかる写真を地図に貼付するなど、隣地の状況を把握できるようにしてください。

（例）低層住宅、高層住宅、工場、事務所、商店、学校、病院　等

③　街並みづくり計画等の有無とその内容

※計画地及び隣接地における街並みづくり・景観づくりに関する地域指定・計画等の有無とその概要について具体的に記載してください。

（例）地区計画、建築協定、県や市町村の景観づくりに関する指定地区、景観づくり協定、緑地協定　等

※計画地及び隣接地における公的計画及び基盤整備事業等の有無とその概要について具体的に記載してください。

（例）市街地再開発事業、土地区画整理事業、中心市街地活性化基本計画（計画に位置づけられた事業で街並みづくりに関する整備が行われる場合）、パークアンドライド事業、車両乗り入れの禁止地区　等

(4)　建物の構造及び規模

①　建物構造及び所有形態

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 構　　造 | 備考（所有形態等） |
| Ａ棟 | 鉄筋コンクリート造地上△階建 | ×××××株式会社所有(昭和○×年○月賃貸借契約締結) |
| Ｂ棟 | 鉄筋コンクリート造地上△階建 | ×××××株式会社所有(昭和○年○月△△株式会社と賃貸借契約締結) |

②　店舗面積の内訳

イ　建築面積　　　　　　　㎡　（建ぺい率　　　　　％）

ロ　延床面積　　　　　　　㎡　（容積率　　　　　　％）

ハ　各階ごとの店舗面積及び延床面積等

（例）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：㎡)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 階数 | 店舗面積 | その他の施設 | 延床面積 |
| １Ｆ | 2,500 | ゲームセンター | 550 | 3,050 |
| ２Ｆ | 2,500 | 飲食店 | 500 | 3,000 |
| 計 | 5,000 |  | 1,050 | 6,050 |

※建築面積及び延床面積の定義は、建築基準法による。

ニ　小売業者ごとの店舗面積（下表の番号を各階平面図に記載する。）

（例）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：㎡)

|  |  |
| --- | --- |
| 小　売　業　者 | 店舗面積 |
| 番号 | 氏名又は名称 | 店舗の名称 |
| 1 | 株式会社○○ |  |  |
| 2 | ○○　○○ |  |  |

※小売業者ごとの店舗部分の配置を各階平面図に表示してください。

※飲食業、クリーニング業、理容業等を行う者は小売業者ではないので、店舗面積に含めません。

(5)　その他の施設計画と各施設面積

※飲食店、銀行ＡＴＭ、クリーニング、映画館、ボーリング場、ゲームセンター、温浴施設等の小売店舗の集客に影響を与える蓋然性を有する併設施設と、オフィス、マンション等の当該施設を利用者が小売店舗利用者と独立して考えられるような併設施設の区別をして、それぞれの延床面積の合計を記載してください。

※別棟で設置されるものについても、その旨を表示して記載してください。

※各施設の事業主体についても、可能であれば記載してください。

（例）

（小売店舗の集客に影響を与える併設施設）　（利用者層が異なる併設施設）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業内容 | 事業主体 | 延床面積 |  | 事業内容 | 事業主体 | 延床面積 |
| 飲食施設 | 株式会社○○ | ㎡ |  | オフィス | 株式会社○○ | ㎡ |
|  | 株式会社○○ | ㎡ |  | マンション |  | ㎡ |
| 映画館 | 株式会社○○ | ㎡ |  |  |  |  |
| ゲームセンター |  | ㎡ |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 合計 | ㎡ |  | 合計 | ㎡ |

※計画説明書の作成時点で分かっているもののみ記載し、施設の区分については「業務施設」「飲食施設」といった区分でも構いません。

(6)　設置設備等の計画

（例）

①　大気関係

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 施設名 | 基数 | 公害防止対策 | 燃料種類及び使用量（l/hr） | 排出ガス量（Nm3/hr） | 備考 |
| 発電機 |  | 煙突高さ(ｍ)等を記入 |  |  | 非常用 |
| ボイラー |  |  |  |  |  |
| 冷温水発生機 |  |  |  |  |  |
| ： | ： | ： | ： | ： | ： |

②　水質関係

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施設名 | 排出量（ｍ3/日） | 排出処理施設 | 排水河川名等 |
| 工程排水 |  | 浄化槽等 | ○○排水路→○○川 |
| 生活排水 |  | 下水道 | ○○下水道 |
| 冷却水 |  | 無処理等 | ○○排水路→○○川 |
| ： | ： | ： | ： |

③　地下水関係

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 施設名 | 深さ（ｍ） | 排出量（㎥/日） | 揚水機の吐出口断面積（㎠） | 使用目的 | 配置 |
| No.１井戸 |  |  |  |  | ＜別添配置図＞ |
| No.２井戸 |  |  |  |  |  |
| ： | ： | ： |  | ： |  |

(7)　建築着工予定年月日及び完成予定年月日

①　建築着工予定年月日　　　　　　年　　月　　日

②　完成予定年月日　　　　　　　　年　　月　　日

※店舗の変更届出の場合は、その変更に係る部分の工事について記載してください。

(8)　特別な開店時刻による営業を行う時期

（変更前）午前○時開店

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 小売業者 | 時期 | 日数 |
| ○○株式会社外×人 |  |  |
|  |  |
| 合　　　計 |  |

（変更後）午前○時開店

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 小売業者 | 時期 | 日数 |
| ○○株式会社外×人 |  |  |
|  |  |
| 合　　　計 |  |

(9)　特別な閉店時刻による営業を行う時期

（変更前）午後○時閉店

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 小売業者 | 時期 | 日数 |
| ○○株式会社外×人 |  |  |
|  |  |
| 合　　　計 |  |

（変更後）午後○時閉店

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 小売業者 | 時期 | 日数 |
| ○○株式会社外×人 |  |  |
|  |  |
| 合　　　計 |  |

|  |
| --- |
| **Ⅱ　届出事項関係** |

変更届出書

年　　月　　日

富山県知事　殿

株式会社　○○○○

代表取締役　○○○○

○○市○○町○○番地

※設置者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては代表者の氏名を記載してください。

大規模小売店舗立地法第６条第２項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

１　大規模小売店舗の名称及び所在地

※所在地は計画地の土地登記簿上の地番・筆数を記載してください。

○○○○○　△△店

富山市○○町○丁目○○番地　ほか○筆

２　変更しようとする事項

(1)　駐車場の位置及び収容台数

（変更前）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 駐車場 | 位　　置 | 収容台数 |
| 来客用駐車場１ | 建物東側（別添配置図No.○） | ○○○台 |
| 来客用駐車場２ | 建物西側（別添配置図No.○） | ○○○台 |
| 合　　計 | ○○○台 |

（変更前）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 駐車場 | 位　　置 | 収容台数 |
| 来客用駐車場１ | 建物東側（別添配置図No.○） | ○○○台 |
| 来客用駐車場２ | 建物西側（別添配置図No.○） | ○○○台 |
| 合　　計 | ○○○台 |

※添付図面に駐車場ごとの名称と収容台数等を記載してください。（駐輪場、荷さばき施設、廃棄物等の保管施設も同様。）

※駐車場の名称、図面の名称は任意で付けて構いません。（駐輪場、荷さばき施設、廃棄物等の保管施設も同様。）

※計画にあたっては「駐車場法」及び市町村の定める「建築物の駐車施設附置義務条例」の規定を遵守してください。

３　変更する年月日

○○年○○月○○日

４　変更する理由

|  |
| --- |
| **Ⅲ　添付書類関係** |

１　建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面【規則第４条第１項第３号】

(1)　建物配置図　　別添　配置図№○　参照

※店舗の用に供する部分、その他の施設、駐車場等の配置が分かる図面

(2)　各階平面図　　別添　平面図№○　参照

※店舗面積部分の範囲を色分け等で明確に表示した各階ごとの平面図

２　必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠【規則第４条第１項第４号】

(1)　必要駐車台数算出根拠（指針による計算の場合、次の表を用いることができます）

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 各項目算出のための計算式等 |
| 行政人口 | 千人 | 前年度末日の住民基本台帳 |
| 地区の区分 |  | 商業地区　・　その他地区 |
| Ｓ：店舗面積 | 千㎡ | 小数点第３位まで記入 |
| Ａ：店舗面積当たり日来店客数原単位 | 人／千㎡ |  |
| Ｂ：ピーク率 | １４．４％ |  |
| Ｌ：駅からの距離　　　※1 | ｍ | 駅名: |
| Ｃ：自動車分担率 | ％ | 小数点以下四捨五入 |
| Ｄ：平均乗車人員 | 人／台 | 小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで記入 |
| Ｅ：平均駐車時間係数 |  | 小数第３位を四捨五入し、小数第２位まで記入 |
| 必要な駐車場台数 | 台 | Ａ×Ｓ×Ｂ×Ｃ÷Ｄ×Ｅ |
| 届出の駐車場台数 | 台 |

※１駅からの距離は、最寄りの駅の改札口から店舗の敷地を結んだ地図上の直線距離とする。

※２大規模小売店舗内の店舗面積の合計を増加させる変更（増床）をしようとするときは、以下の計算式により必要な駐車台数を確保（借上げ、公共駐車場の利用等を含む。）するものとする。

・増床前の駐車場の収容台数が指針の計算式による必要駐車台数を満たしていない場合

（「増床前の指針の計算式による必要駐車台数」＞「増床前の駐車場の収容台数」）

「増床後の指針の計算式による必要駐車台数」 ― 「増床前の指針の計算式による必要駐車台数」＝ 「増床にあたって新たに確保する必要がある駐車台数」

「増床前の駐車場の収容台数」 ＋ 「増床にあたって新たに確保する必要がある駐車台数」

＝「増床後の必要駐車台数」

※３小売店舗以外の施設が併設されている場合の必要駐車台数の算出方法は、下記イ又はロのいずれかの考え方で行うことも可能である。

イ．利用者数や施設稼動率等から推察される併設施設の必要駐車台数を小売店舗の外数として算出する。

ロ．併設施設の種類に応じた考え方や数値を目安として必要な駐車台数を推測し、複数の種類に属する施設等がある場合にはそれらの必要駐車台数を合算して、併設施設を含めた必要駐車台数を算出する。

①　オフィス、マンション等併設施設の利用者を小売店舗利用者とは独立して考えられるような併設施設の場合

施設毎にある程度利用者が特定されるため、当該施設の規模等に応じて併設部分の必要駐車台数を算出する。

②　飲食店、銀行ＡＴＭ、クリーニング、映画館、ボーリング場、ゲームセンター、温浴施設等併設施設が小売店舗の集客に影響を与える蓋然性を有する併設施設の場合

ａ．当該施設の面積の合計が当該小売店舗の面積の２割を超えない範囲である場合には、当該小売店舗の必要駐車台数の算出式により算出された「必要駐車台数」の内数として考える。

小売店舗の集客に影響を与える併設施設面積 (ｓ) の合計　（端数は四捨五入）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| (ｓ) |  　㎡ |  Ｓ(店舗面積) ×0.2 |  　㎡ |  　　条件(ｓ)≦Ｓ× 0.2 |

ｂ．２割を超えた場合は、小売店舗の必要駐車台数の算出式により算出された「必要駐車台数」に併設施設の割合に応じ、下記に示す比率倍の必要駐車台数を整備することが最低限の目安となる。

|  |  |
| --- | --- |
| 併設施設の割合 | 指針値との比率式（Ｘ：併設施設の割合　％） |
| ２０～５０％ | ０．０１０Ｘ＋０．８０ |
| ５０～８０％ | ０．００８Ｘ＋０．９０ |
| ８０％～ | ０．００２Ｘ＋１．３８ |

（記載例）

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 各項目算出のための計算式等 |
| S：店舗面積 | 千㎡ | 小数点第３位まで記入 |
| （ｓ）：併設施設の面積の合計 | 人/千㎡ | 小数点第３位まで記入 |
| X：併設施設の割合 | ％ |  |
| 指針値との比率 |  |  |
| 必要な駐車場台数（併設施設含む） |  | A×S×B×C÷D×E×指針値との比率 |

③　小売店舗以上の集客力を有する併設施設と一体となっている場合（小売店舗が大規模なアミューズメント施設や博覧会施設の一部であるような場合）

主たる施設についての必要駐車台数の根拠等を基に必要駐車台数を判断する。

(2)　指針による計算式によらない場合

①　必要駐車台数　　　　　　　台

※特別な事情の説明も記入してください。

②　必要駐車台数算出根拠

|  |
| --- |
|  |

(3)　その他の駐車場の状況

①　従業員等（業務用を含む）駐車場

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分（例示） | 必要駐車台数 | 備　考(台数算定根拠等) |
| 従業員駐車場 | 台 | 従業員数　人（うち、自動車通勤　人、小売店舗駐車場と共用） |
| 業務用駐車場 | 台 |  |
| 商品等の搬出入用駐車場 | 台 |  |
| 合計 | 台 |  |

※従業員等駐車場の収容台数は、来客用必要駐車台数には含みません。

(4)　その他、参考とした事項があれば記載

|  |
| --- |
|  |

※積雪の堆積場についても記載してください。駐車場内に堆雪場を設ける場合、位置を図面に示してください。

３　駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項【規則第４条第１項第５号】

（以下は必要な事項の例です）

(1)　駐車場の自動車の出入口の形式

①　駐車場の入庫処理能力

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 出入口の場所 | １時間当たり入庫処理能力 | ピ－ク１時間に予想される来客自動車数 |
| 別添配置図No. | 台 | 台 |
| 別添配置図No. | 台 | 台 |

※自走式で発券ブース等のない駐車場については記載の必要はありません。

※１時間当たり入庫処理能力＝60分÷（メ－カ－から提供される１台当たりの処理時間＋乗客の乗降時間）×発券ブース等の台数（１つの入口で発券ブース等が複数台設置されている場合）

②　敷地内駐車待ちスペース

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 出入口の場所 | 駐車待ちスペースの有無 | 実際に用意する駐車待ちスペース | 発券ブースの有無 | 必要な駐車待ちスペース※ | 駐車待ちスペース「無」の場合 |
| 長さ | 算出根拠 | その理由・対策 |
| 別添配置図No. | 有・無 | ｍ | 有・無 | Ｍ |  |  |
| 別添配置図No. | 有・無 | ｍ | 有・無 | Ｍ |  |  |

※必要な駐車待ちスペース＝（当該入口の１分当たりの来台数×1.6－当該入口の１分当たりの入庫処理可能台数）×６ｍ（平均車頭間隔）

(2)　来客の自動車の方向別台数の予測の結果

|  |  |
| --- | --- |
| 予測方法 |  |
| 予測の根拠 |  |
| 予測結果 |  |

(3)　敷地周辺の道路の状況

※周辺見取図に道路の状況を表示してください。

→道路幅員、交通規制、信号交差点（右折帯の有無）歩道の有無、横断歩道・歩道橋の位置現況、通学路の有無と位置、バス路線の有無と位置

(4)　その他、参考とした事項があれば記載

|  |
| --- |
|  |

《参考：出入口の数及び位置を設定するため、交通量調査を行う場合の一例》

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １　現状の平均的な休祭日における交通量調査の結果

|  |  |
| --- | --- |
| 調査年月日 | 休日：　　　年　月　日（　） |
| 調査場所 |  |
| 調査の委託先 | 《※委託した場合》 |
| 調査方法 |  |

※調査エリアは原則として経路予定の店舗周辺最寄りの交差点としてください。※調査時間帯は、来客の自動車台数のピーク１時間（できればプラス１時間前後）としてください。※ 調査内容としては、車種及び時間帯別、方向別の台数を調査してください。〈交差点調査方向　○○〉　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：台）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 時間帯 | 普通車 | 大型車 | 自動車小計 | 二輪車 | 全車種合計 |
| 14時00分～15時00分 |  |  |  |  |  |
| 15時00分～16時00分 |  |  |  |  |  |
| 16時00分～17時00分 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |  |

〈交差点通行量〉　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：台）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 時間帯 | 普通車 | 大型車 | 自動車小計 | 二輪車 | 全車種合計 |
| 14時00分～15時00分 |  |  |  |  |  |
| 15時00分～16時00分 |  |  |  |  |  |
| 16時00分～17時00分 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |  |

※平日の来客数が平均的な休祭日よりも多くなる場合は、来客数が最大となる当該曜日について、記入してください。※交差点調査方向別に記入し、最後に交差点交通量（各交差点調査方向別の合計）を記入してください。※時間帯は、１時間ごとに分けて記入してください。※見取図上に結果を図示してください。２　開店後の周辺道路の交通量の予測

|  |  |
| --- | --- |
| 予測方法 |  |
| 予測の根拠 |  |

 |
| ※調査エリアは原則として経路予定の店舗周辺最寄りの交差点とします。来客の自動車台数のピーク１時間（できればプラス前後１時間）の１時間ごとの想定来店台数を入場、出場に分けて方向別に予測し一覧表とします。平均的な休祭日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：台）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 種別時間帯 | 入場 | 出場 |
| 合計 | ○○方向 | ○○方向 | ○○方向 | 合計 | ○○方向 | ○○方向 | ○○方向 |
| 合計 | 100％ | ○○％ | ○○％ | ○○％ | 100％ | ○○％ | ○○％ | ○○％ |
| 14時～15時 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 15時～16時 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 16時～17時 |  |  |  |  |  |  |  |  |

※平日の来客数が平均的な休祭日よりも多くなる場合は、来客数が最大となる当該曜日について、記入してください。※入場の各方向とそこに至る経路、出場の方向とそこからの経路の関係がわかるように周辺見取図の中に明記してください。※１時間ごとの想定来店台数を入場、出場に分けて方向別一覧表にしてください。※見取図上に結果を図示してください３　現況と開店後における交通量の比較(1)　方向別交通量休祭日〔交差点名：○○○○〕＜現況＞ピーク時：　　時台　　 ＜開店後＞※平日の来客数が平均的な休祭日よりも多くなる場合は、来客数が最大となる当該曜日について、それぞれ記入してください。(2)　交差点飽和

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 平日 | 休日 |
| 現況 | 開店後 | 現況 | 開店後 |
| 飽和度 |  |  |  |  |
| ピーク時 | 時台 | 時台 | 時台 | 時台 |

〔※算出根拠を明示してください。〕 |

４　来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法【規則第４条第１項第６号】

(1)　周辺見取図に来客の自動車の案内経路及び経路を来店者に知らせる方法を表示した図面

別添

※主な案内表示や、整理員を配置する場合は、位置を明示してください。

(2)　経路等を来店者に知らせる方法

|  |  |
| --- | --- |
| 項目（例） | 具体的な方法 |
| 案内表示（看板）の設置 |  |
| ちらし等の配布 |  |
| 交通整理員の配置 |  |
| その他 |  |

５　遮音壁を設置する場合にあっては、その位置及び高さを示す図面【規則第４条第１項第８号】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 遮音壁の有無 | 高　さ | 備考（位置等） |
| 無　・　有 | ｍ | 別添配置図 |

６　冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼働時間帯及び位置を示す図面【規則第４条第１項第９号】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項　　目 | 設置の有無 | 稼働時間帯 | 位置 |
| 冷却塔 | 無・有 | ○時○分から○時○分まで | 別添配置図No.○ |
| 室外機 | 無・有 | ○時○分から○時○分まで | 別添配置図No.○ |
| 送風機 | 無・有 | ○時○分から○時○分まで | 別添配置図No.○ |

７　平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠【規則第４条第１項第10号】（指針による場合、次の表を用いることができます）

(1)　昼間の等価騒音レベルの予測

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 騒音発生源（例） | 基準距離における騒音レベル等 | 騒音継続時間(○時～○時)又は騒音発生回数 | 予測地点までの距離（ｍ） | 各予測地点における騒音レベル(dB) |
| 騒音レベル(dB) | 根拠 | Ａ | Ｂ | Ｃ | Ｄ | Ａ | Ｂ | Ｃ | Ｄ |
| 定常騒音 | 冷却塔 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 室外機 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 給排気口 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 変動騒音 | 自動車走行 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 荷さばきアイドリング |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 荷さばき後進ブザー |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 廃棄物収集作業 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ＢＧＭ等 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 衝撃騒音 | 荷さばき荷おろし音 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 荷さばき台車走行音 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 昼間（6:00～22:00）の等価騒音レベル | Ａ地点 | ｄＢ | Ｃ地点 | ｄＢ |
| Ｂ地点 | ｄＢ | Ｄ地点 | ｄＢ |
| 地域の類型 | Ａ地点 |  | Ｃ地点 |  |
| Ｂ地点 |  | Ｄ地点 |  |
| 環境基準 | Ａ地点 | ｄＢ | Ｃ地点 | ｄＢ |
| Ｂ地点 | ｄＢ | Ｄ地点 | ｄＢ |
| 予測地点 | 選定理由 |
| Ａ地点 |  |
| Ｂ地点 |  |
| Ｃ地点 |  |
| Ｄ地点 |  |
| 予測地点 | 評価 |
| Ａ地点 |  |
| Ｂ地点 |  |
| Ｃ地点 |  |
| Ｄ地点 |  |

※騒音予測地点については、原則として建物の周囲４方向からそれぞれ近接した最も騒音の影響を受けやすい地点に立地し又は立地可能な住居等の屋外とします。

ただし、住居等の立地が不可能な用途の地域に面している方向については、これを予測する必要はありません。

※各騒音予測地点の用途地域の種類とその境界線を建物配置図等に記載してください。

※騒音予測のため必要な数値(自動車走行の時間帯ごとの台数等)や資料及び予測式等を用いた計算内容等は別添資料としてください。

※基準距離における騒音レベルの根拠は、その出典を明示してください。

（例） 文献名、メーカーの提示した数値、実測等

※「道路に面する地域」や「幹線道路を担う道路に近接する空間」の場合は、地域の類型の次に括弧書きで記載し、道路の車線数を図面に表示してください。

※選定理由欄には各予測地点ごとに最も騒音の影響を受けやすい地点と判断した理由を記載してください。

※評価欄には各予測地点ごとの騒音の状況、各地点の予測値が「騒音に係る環境基準（平成10年９月30日環境庁告示第64号）」に適合するか否かを記載してください。（超えている場合は、できるかぎりの対策を指針配慮事項に記載してください。）

※予測地点の高さは、原則として地上1.2ｍとしてください。

※予測場所の地域において「騒音に係る環境基準」の地域の類型が指定されていない場合には、県環境保全課と協議の上、記載してください。

(2)　夜間の等価騒音レベルの予測

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 騒音発生源（例） | 基準距離における騒音レベル等 | 騒音継続時間(○時～○時)又は騒音発生回数 | 予測地点までの距離（ｍ） | 各予測地点における騒音レベル(dB) |
| 騒音レベル(dB) | 根拠 | Ａ | Ｂ | Ｃ | Ｄ | Ａ | Ｂ | Ｃ | Ｄ |
| 定常騒音 | 冷却塔 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 室外機 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 給排気口 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 変動騒音 | 自動車走行 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 荷さばきアイドリング |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 荷さばき後進ブザー |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 廃棄物収集作業 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ＢＧＭ等 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 衝撃騒音 | 荷さばき荷おろし音 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 荷さばき台車走行音 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 夜間（22:00～翌6:00）の等価騒音レベル | Ａ地点 | ｄＢ | Ｃ地点 | ｄＢ |
| Ｂ地点 | ｄＢ | Ｄ地点 | ｄＢ |
| 地域の類型 | Ａ地点 |  | Ｃ地点 |  |
| Ｂ地点 |  | Ｄ地点 |  |
| 環境基準 | Ａ地点 | ｄＢ | Ｃ地点 | ｄＢ |
| Ｂ地点 | ｄＢ | Ｄ地点 | ｄＢ |
| 予測地点 | 選定理由 |
| Ａ地点 |  |
| Ｂ地点 |  |
| Ｃ地点 |  |
| Ｄ地点 |  |
| 予測地点 | 評価 |
| Ａ地点 |  |
| Ｂ地点 |  |
| Ｃ地点 |  |
| Ｄ地点 |  |

※　注意事項は昼間の場合と同じ。

(3)　その他、参考とした事項があれば記載

|  |
| --- |
|  |

８　夜間において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠【規則第４条第１項第11号】（指針による場合、次の表を用いることができます）

【夜間営業その他の理由により、夜間騒音が発生する見込みのある場合のみ記載】

《夜間（午後10時～翌午前６時）において発生することが見込まれる騒音》

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 騒音発生源（例） | 基準距離における騒音レベル等 | 騒音継続時間(○時～○時)又は騒音発生回数 | 予測地点までの距離（ｍ） | 各予測地点における騒音レベル(dB) |
| 騒音レベル(dB) | 根拠 | Ａ’ | Ｂ’ | Ｃ’ | Ｄ’ | Ａ’ | Ｂ’ | Ｃ’ | Ｄ’ |
| 定常騒音 | 冷却塔 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 室外機 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 給排気口 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 変動騒音 | 自動車走行 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 荷さばきアイドリング |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 荷さばき後進ブザー |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 廃棄物収集作業 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ＢＧＭ等 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 衝撃騒音 | 荷さばき荷おろし音 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 荷さばき台車走行音 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 騒音レベルの最大値 | Ａ’地点 | ｄＢ | Ｃ’地点 | ｄＢ |
| Ｂ’地点 | ｄＢ | Ｄ’地点 | ｄＢ |
| 区域の区分 | Ａ’地点 |  | Ｃ’地点 |  |
| Ｂ’地点 |  | Ｄ’地点 |  |
| 規制基準 | Ａ’地点 | ｄＢ | Ｃ’地点 | ｄＢ |
| Ｂ’地点 | ｄＢ | Ｄ’地点 | ｄＢ |
| 予測地点 | 選定理由 |
| Ａ’地点 |  |
| Ｂ’地点 |  |
| Ｃ’地点 |  |
| Ｄ’地点 |  |
| 予測地点 | 評価 |
| Ａ’地点 |  |
| Ｂ’地点 |  |
| Ｃ’地点 |  |
| Ｄ’地点 |  |

※予測式等を用いた計算は別途資料として提出ください。

※予測地点については、大規模小売店舗の敷地の境界線とします。

※各騒音予測地点の用途地域の種類とその境界線を建物配置図等に記載してください。

※定常騒音については「Ａ特性音圧レベル（騒音レベル）」、変動騒音及び衝撃騒音については「騒音レベルの最大値」の予測値を記載してください。

※騒音レベルの最大値は騒音計「時間重み特性Ｆ」を用いて測定した場合のものとします。

※選定理由欄には各予測地点ごとに最も騒音の影響を受けやすい地点と判断した理由を記載してください。

※評価欄には各予測地点ごとの騒音の状況、各地点の予測値が「騒音規制法における夜間の規制基準」に適合するか否かを記載してください。（超えている場合は、できるかぎりの対策を指針配慮事項に記載してください。）

※予測場所の地域において騒音規制法に基づく地域の指定が行われていない場合には、県環境保全課と協議の上、記載してください。

９　必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠【規則第４条第１項第12号】

(1)　廃棄物等の排出量等の予測（指針の計算による場合、次の表を用いることができます）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 業態 | 総合店、衣料品専門店、食料品専門店、住・生活関連品専門店 |  |
| 廃棄物種　別 | Ｓ：店舗面積（小数点第３位まで表示） | Ａ：１日当たりの廃棄物排出量(指針原単位×Ｓ) | Ｂ：平均保管日数 | Ｃ：見かけ比重(t/㎡) | 排出予測量Ａ×Ｂ÷Ｃ | 届出容量 | 位 置 |
| 紙製廃棄物等 | ６千㎡以下の部分 | 千㎡ | (　　　　t) | 日 |  | ㎥ | ㎥ | 別添配置図No.○ |
| ６千㎡超の部分 | 千㎡ | (　　　　t) |
|  |  | 計　　　　ｔ |
| 金属製廃棄物等 | ６千㎡以下の部分 | 千㎡ | (　　　　t) | 日 |  | ㎥ | ㎥ | 別添配置図No.○ |
| ６千㎡超の部分 | 千㎡ | (　　　　t) |
|  |  | 計　　　　ｔ |
| ガラス製廃棄物等 | ６千㎡以下の部分 | 千㎡ | (　　　　t) | 日 |  | ㎥ | ㎥ | 別添配置図No.○ |
| ６千㎡超の部分 | 千㎡ | (　　　　t) |
|  |  | 計　　　　ｔ |
| プラスチック製廃棄物等 | ６千㎡以下の部分 | 千㎡ | (　　　　t) | 日 |  | ㎥ | ㎥ | 別添配置図No.○ |
| ６千㎡超の部分 | 千㎡ | (　　　　t) |
|  |  | 計　　　　ｔ |
| 生ごみ等 | ６千㎡以下の部分 | 千㎡ | (　　　　t) | 日 |  | ㎥ | ㎥ | 別添配置図No.○ |
| ６千㎡超の部分 | 千㎡ | (　　　　t) |
|  |  | 計　　　　ｔ |
| その他の可燃性廃棄物等 | ６千㎡以下の部分 | 千㎡ | (　　　　t) | 日 |  | ㎥ | ㎥ | 別添配置図No.○ |
| ６千㎡超の部分 | 千㎡ | (　　　　t) |
|  |  | 計　　　　ｔ |
|  | 合　　計 | ㎥ | ㎥ |  |

・見かけ比重について指針の数値によらない場合の見かけ比重の根拠等

|  |
| --- |
|  |

(2)　指針の数値によらない場合

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 廃棄物種類 | 排出予測量 | 届出容量 | 位置 |
| 紙製廃棄物等 | ㎥ | ㎥ | 別添配置図No.○ |
| 金属製廃棄物等 | ㎥ | ㎥ | 別添配置図No.○ |
| ガラス製廃棄物等 | ㎥ | ㎥ | 別添配置図No.○ |
| プラスチック製廃棄物等 | ㎥ | ㎥ | 別添配置図No.○ |
| 生ごみ等 | ㎥ | ㎥ | 別添配置図No.○ |
| その他の可燃性廃棄物等 | ㎥ | ㎥ | 別添配置図No.○ |
| 合　計 | ㎥ | ㎥ |  |

※特別な事情の説明も記載してください。

(3)　小売店舗以外の併設施設からの廃棄物等の排出量予測

【小売店舗以外の併設施設が有る場合のみ記載】

|  |  |
| --- | --- |
| 併設施設の廃棄物保管施設 | 小売店舗と共用　・　小売店舗と別途確保 |

〔共用の場合：小売店舗分を含んだ排出予測量〕

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 廃棄物種類 | 排出予測量 | 算出根拠 |
| 紙製廃棄物等 | ㎥ |  |
| 金属製廃棄物等 | ㎥ |  |
| ガラス製廃棄物等 | ㎥ |  |
| プラスチック製廃棄物等 | ㎥ |  |
| 生ごみ等 | ㎥ |  |
| その他の可燃性廃棄物等 | ㎥ |  |
| 合　計 | ㎥ |  |

〔小売店舗と別途確保する場合：併設施設分のみの排出予測量〕

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 廃棄物種類 | 排出予測量 | 算出根拠 |
| 紙製廃棄物等 | ㎥ |  |
| 金属製廃棄物等 | ㎥ |  |
| ガラス製廃棄物等 | ㎥ |  |
| プラスチック製廃棄物等 | ㎥ |  |
| 生ごみ等 | ㎥ |  |
| その他の可燃性廃棄物等 | ㎥ |  |
| 合　計 | ㎥ |  |

|  |
| --- |
| **Ⅳ　添付図面（届出事項及び添付書類関係分）** |

届出内容に応じて、添付する書類及びその記載事項を選択して提出してください。また、添付する図面については、以下のようにまとめて記載することもできます。

ただし、１つの図面にまとめることが困難な場合には、別葉の図面とすることも可能です。また、図面には必ず縮尺・方位を表示してください。（２枚以上に図面を分けた場合には縮尺を統一してください。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 提出する図面の種類 | 併用可能な図面の種類 | 記載項目等 |
| １　建物位置図 | １　経路に関する図面 |
| 建物の位置及び周辺の幹線道路等の状況のわかる図面 | ①　広域見取図 | ・出店地の周囲３km～５km程度の範囲を含むもの・周辺道路の状況がわかるもの・敷地部分及び建物の外形を明確にする。 |
| ２　周辺見取図 | １　経路に関する図面 |
| 隣接地の用途現況及び街づくり計画等の範囲がわかる図面(敷地部分及び建物の外形を明確にする。) | ①　周辺見取図・来客自動車の案内経路 | ・敷地周辺(出店地から半径1Km程度)の道路の状況→道路幅員、車線数、交通規制、信号交差点（右折帯設置の有無）歩道の有無、横断歩道・歩道橋 の位置現況、通学路の有無と位置、バス路線の有無と位置・自動車の案内経路の表示(入場、出場両方を記載)→来客自動車の案内経路、小売店舗以外の複合施設の利用者の案内経路、搬出入車両の運行経路、経路案内看板の設置場所、交通整理員の配置 |
|  | ②　方向別来台数予測の結果（予測を行った場合に記載） |  |
|  | ③　交通量調査結果（調査を行った場合に記載） |  |
| ３　建物配置図 | １　駐車場計画に関する図面 |
| 店舗の用に供する部分その他の施設、駐車場等の配置が分かる図面（太枠で囲んだり、色分けするなど、それぞれの部分を明確にする。） | ① 駐車場配置図 | ・駐車場の配置（複数の駐車場がある場合には、番号を記載して区別すること）・駐車区画の配置（寸法入り）・駐車場内外の自動車の通路、幅員・駐車場の出入口の位置及び出入口が接する道路の位置、幅員（複数の出入口がある場合には、番号を記載して区別し、出入口間の距離を表示すること）・駐車場から店舗の入口までの歩行者経路・交通整理員の位置・場内の路面表示の位置、内容等・堆雪場の位置 |
| ２　駐輪場の計画に関する図面 |
| ①　駐輪場配置図 | ・駐輪場の配置(複数ある場合は番号を記載）・駐輪区画の配置（寸法入り）・駐輪場への自転車の経路・駐輪場案内表示の位置 |
| ３　荷さばき施設の計画に関する図面 |
| ①　搬出入車両の出入口等配置図 | ・出入口の位置・出入口付近の建物現況（住宅、学校、病院等）・出入口が接する道路の位置、幅員、車線数 |
|  | ４　騒音発生源となる施設設備の配置図 |
| ①　騒音発生源となる施設設備の配置図 | ・各施設設備の配置、寸法→冷却塔、室外機、給排気口等駐車場、荷さばき施設、廃棄物保管場所等拡声器等・騒音予測地点・遮音壁等の防音施設の配置（寸法入り）・緑地帯の配置 |
| ５　廃棄物等保管施設に関する図面 |
| ① 廃棄物等保管施設の配置図 | ・廃棄物保管施設の位置及び隣接地の用途 |
| ４　各階平面図 | １　各小売業者等の位置 |
| ２　小売業以外の事業用スペース等の位置 |
| ３　駐車場計画に関する図面 |
| 各業態ごとに範囲を示した各階ごとの平面図（太枠で囲んだり、色分けするなど、それぞれの部分を明確にする。） | ①　駐車場各階平面図 | ・間取り・駐車区画等の寸法・駐車場内外の自動車の通路・幅員・駐車場から店舗の入口までの歩行者経路 |
| ４　荷さばき施設の計画に関する図面 |
| ①　荷さばき施設の平面図 | ・プラットホームの広さ、待機スペースの大きさ・想定される車の大きさと同時作業可能な台数 |
| ５　廃棄物等保管施設に関する図面 |
| ①　廃棄物保管施設の平面図 | ・一般廃棄物の保管施設の寸法、高さ、構造等・リサイクル品のストックヤードの寸法、高さ、構造等 |
| ５　求積図 | １　建物内の小売業等を行うための店舗の用に供される部分の求積図面 |
| ６　騒音予測に関する図面（騒音発生源となる施設、設備が複数ある場合には、番号を記載して区別すること。） | １　騒音発生源・防音壁の平面図、立面図騒音予測に必要とされる騒音発生源と騒音予測地点との水平距離や騒音発生源、防音壁の高さ等のわかる図面 |
| ２　都市計画法第８条に基づく用途地域の境界線 |

|  |
| --- |
| **Ⅴ　指針配慮事項** |

１　駐車場の計画

(1)　駐車場の設置に当たっての配慮

（例）

|  |  |
| --- | --- |
| 項　　　目 | 具体的な内容 |
| 自転車、歩行者等の動線分離 |  |
| 駐車場からの排気ガス | 不必要なアイドリング禁止の看板を設置 |
| 近隣居住者への騒音 |  |
| 閉店時間中の駐車場管理方法 | ○時から○時まで駐車場出入口をチェーン等で閉鎖している。 |

(2)　交通への支障を回避するための方策等

（例）

|  |  |
| --- | --- |
| 交通への支障回避の方策 | 具体的な内容 |
| 案内表示の設置 | 配置場所：＜別添配置図上に記載＞配置人数：配置日・時間： |
| 交通整理員の配置 |
| 仮設駐車場の確保 |
| 公共交通機関の活用 |

※イベント・売出し等の特定日に特別な対策を予定している場合にも記載してください。

２　経路の設定

設置者が行う交通対策等の予定

|  |
| --- |
|  |

※事前協議の指摘事項への対応策、公共交通計画との連携があれば、具体的に記載してください。

３　その他の施設の配置及び運営方法に関する計画

(1)　歩行者の通行の利便の確保等のための計画

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 具体的な内容等 |
| 歩行者の通路確保のための対策 |  |
| 夜間照明灯の設置場所 | 配置場所：＜別添配置図上に記載＞ |

４　騒音対策

(1)　駐車場の施設構造と騒音対策の概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 駐車場No.（配置図上に記載の番号） | 施設面の騒音対策（※1） | 運用面の騒音対策（※2） |
|  |  |  |

※1 【駐車場の施設面の騒音対策】

駐車場の屋内化及びこれに伴う天井・壁の吸音処理、立体駐車場等におけるスロープの勾配等に配慮した防音対策、床や排水蓋等による段差をなくすこと等、施設の配置・構造面での配慮事項を記載してください。

※2 【駐車場の運用面の騒音対策】

駐車場の利用時間帯の制限、誘導員・監視員による場内走行の円滑化、見回りの実施等、運営面での配慮事項を記載してください。

(2)　緑地帯の設置等、その他の対策があれば記載

|  |
| --- |
|  |

※上記(1)で記載した事項以外の騒音対策があれば記載してください。

※緑地帯の設置場所等、対策内容を建物配置図等に記載してください。

５　その他の配慮事項　【地域貢献・まちづくりへの取組みについて記載】

内容記載例

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 取組み内容 |
| 地域コミュニティへの参加・協力 | 地域のイベント・活動（祭り、文化・スポーツ、社会貢献 等）への参加・協力（運営参加、場所提供、協賛金 等） | ・地元（○○市）で開催される祭りにに対し、協賛金を提供します。・地元小学校下で開催される住民スポーツ大会に協賛（商品提供）します。 |
| 地域のボランティア団体、ＮＰＯ等の活動（祭り、文化・スポーツ、社会貢献 等）への参加・協力（運営参加、場所提供、協賛金 等） | ・地域活性化に取り組むＮＰＯ団体の活動（募金等）に対し、場所を提供する予定です。 |
| 地域住民・団体の交流スペースの提供（フリースペースの設置、ポスター掲示等の場所提供 等） | ・店内にポスター掲示場所を設けます。 |
| 地域の学校等からの社会見学や体験学習の受け入れ（14歳の挑戦 等） | ・市内中学校の「14歳の挑戦」を受け入れる予定です。 |
| その他 | ・従業員に対し、ボランティア活動への積極的な参加を呼びかけます。 |
| 地域経済活性化の推進 | 商工会議所・商工会に加入 | ・設置者（○○株式会社）及び小売業者（○○株式会社）が○○商工会議所に加入します。 |
| 商店街組織（商店街振興組合、事業協同組合、任意の商店街団体、商店街連盟 等）に加入 | ・設置者（○○株式会社）及び小売業者（○○株式会社）が○○商店街振興組合への加入を検討しています。 |
| 地産地消の推進（地元産品コーナー設置、ＰＲ 等） | ・店内に地元産品コーナーを常設します。 |
| 県内商業者との取引促進 | ・県内商業者との取引に積極的に取り組みます。 |
| 県内商業者のテナント入居促進 | ・県内商業者にテナント入居を積極的に呼びかけます。 |
| 地域の商工団体、商店街、商店との協力・連携（共通ポイント導入、提携セール開催、近隣商工団体との意見交換会開催 等） | ・○○市商店連盟が発行する共通商品券を利用できるようにします。 |
| 従業員を地域から雇用 | ・従業員については、地域からの雇用を優先します。 |
| その他 | ・店舗内外装や商品棚等の資材に県産材を活用します。・観光イベント等の情報発信コーナーを設置します。 |
| 安全安心なまちづくりへの参加・協力 | 災害時に避難場所や緊急物資を提供 | ・災害発生時に、地方自治体等から要請があった場合、店舗が保有する商品を提供します。 |
| 防災訓練等への参加・協力（地域の防災訓練への参加、消防団活動への参加 等） | ・地域の防災訓練への参加など、地域の実情に沿って今後検討します。 |
| 防犯・青少年非行防止対策等への協力（防犯カメラ設置、駐車場の巡回 等） | ・警備員や従業員による巡回を行います。・店内外に防犯カメラを設置します。 |
| 地域の交通安全への協力（交通安全運動への参加、店内放送による交通事故防止啓発 等） | ・地域の交通安全運動への参加など、地域の実情に沿って今後検討します。・店内に交通安全ポスターを掲示します。 |
| 公共交通機関の利用促進 | ・店舗チラシで公共交通機関の利用を積極的に呼びかけます。 |
| その他 | ・従業員の救命講習会への受講を促進します。・「こども110番の家」活動に参加しています。 |
| 環境対策推進への参加・協力 | プラスチックごみなど廃棄物の削減対策（マイバッグ持参推進、簡易包装の実施、リユース商品の販売 等） | ・マイバッグ持参運動を実施し、レジ袋を削減します。・お客様に対し、お中元・お歳暮ギフト等への簡易包装を勧めます。 |
| 来客からの資源物の回収・再資源化（トレイ、アルミ缶、牛乳パックの回収 等） | ・資源回収ボックスを設置し、トレイ、アルミ缶、牛乳パックを回収し、集めた資源物をリサイクルしています。 |
| 食品ロス削減対策（ばら売り・量り売りの実施、納品期限・販売期限の緩和 等） | ・食品の量り売りを実施します。・店頭において、消費者への食品ロス削減啓発活動を行う予定です。 |
| 省エネルギー活動（省エネルギー型機器の導入、適切な空調温度設定、節水 等） | ・店舗で使用する室外機等は、省エネルギー型機器を採用します。・店舗内照明は、必要な照度を確保したうえで間引きします。 |
| 敷地内の緑化推進 | ・敷地の周囲に緑地帯を設置します。 |
| 店舗周辺の清掃（ゴミ拾い 等）、美化活動（花植え 等） | ・店舗周辺での定期的なゴミ拾いを実施します。 |
| その他 | ・環境マネジメントシステムに関する国際規格であるISO14001の認証を取得しています。 |
| 共生社会等への配慮 | 店舗・駐車場等のユニバーサルデザインの導入 | ・店舗はユニバーサルデザインを取り入れた設計とします。・店舗出入口付近に、「富山県ゆずりあいパーキング利用証制度」の駐車区画設置を検討しています。 |
| 高齢者や障害者の雇用促進 | ・「障害者の雇用の促進等に関する法律」を遵守し、法律の基準を上回る積極的な雇用を促進します。・「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」を遵守し、高齢者の雇用機会を確保します。 |
| その他 | ・来店者である高齢者の見守り体制を整えます。・中途採用に積極的に取り組みます。 |
| 撤退時の配慮 | 早期に地域の関係先へ情報提供 | ・早期に地域の関係先へ情報提供を行います。 |
| 後継店舗の確保や従業員の再就職先支援 | ・地域住民の買い物の利便性の低下を極力抑えるため、後継店舗の確保に努めます。・従業員の再就職支援を行います。 |
| 店舗閉鎖に伴う環境悪化を防止するための建物等の管理 | ・店舗閉鎖時は、建物等の管理に十分留意します。 |
| その他 | ・後継店の紹介により、取引先企業の経営悪化防止に配慮します。・撤退後も再利用可能な店舗建築の設計・レイアウトとします。 |
| その他 |  |

※取り組む（取り組んでいる）又は検討中の内容を具体的に記載してください。（取り組む予定がない場合は空欄）

※記載欄の高さは適宜変更してください。

※「商工会議所・商工会に加入」及び「商店街組織（商店街振興組合、任意の商店街団体、商店街連盟 等）に加入」については、加入する（加入している）又は加入検討中の組織を記載してください。なお、当該組織に、設置者とは別に小売業者が加入している場合は、小売業者についても記載し、設置者が加入しない場合は、差し支えなければ理由を記載してください。（例　本社指示のため）

※「その他」は、提示項目以外に取り組む（取り組んでいる）内容がある場合に記載してください。

|  |
| --- |
| **Ⅵ　添付図面（指針配慮事項関係分）** |

※指針配慮事項関係に添付する図面については、以下の中から必要な項目を選択して作成するものとします。ただし、項目によっては、届出書及び添付書類関係分の図面の「周辺見取図・建物配置図」等に一括して記載することも可とします。また、図面には必ず縮尺・方位を明記してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 提出する図面の種類 | 併用可能な図面の種類 | 記載項目等 |
| １　周辺見取図 | １　歩行者の通行の利便の確保のための計画 |
| ①　歩行者通路図面 | ・敷地周辺の歩行者通路 |
| 隣接地の用途現況及び街づくり計画等の範囲が分かる図面 | ２　廃棄物等の運搬・処理に関する図面 |
| ①　廃棄物運搬車両の運行経路 | ・廃棄物運搬車両の運行予定経路 |
| ２　建物配置図 | １　歩行者の通行の利便の確保のための計画 |
| 店舗の用に供する部分その他の施設、駐車場等の配置が分かる図面 | ①　歩行者通路図面 | ・敷地内の歩行者通路 |
| ②　夜間照明灯の配置図 | ・敷地内に設置予定の夜間照明灯等の配置 |
| ２　廃棄物等の運搬・処理に関する図面 |
| ①　廃棄物運搬車両の運行経路 | ・敷地内における運行経路 |
| ②　廃棄物処理施設 | ・廃棄物処理施設、食品加工場等の位置及び隣接地の用途（敷地内処理または食品加工場がある場合） |
| ３　街並みづくり等への配慮に関する図面 |
| ①　屋外照明・広告塔照明の配置図 | ・照明の配置、方向、強さ |
| ②　街並みづくり等へのその他の配慮事項 | ・植栽の位置等 |
| ３　建物完成予想図 | １　街並みづくり等への配慮に関する図面（可能であれば、着色の建物完成予想図を添付） |